

**大学・高専機能強化支援事業**  
**(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【支援2 大学】**  
**事業概要**

令和5年7月時点

選定年度	令和5年度	学校コード	F105110101051
大学名	秋田大学	設置区分	国立
学校種	大学	都道府県	秋田県
申請形態	研究科等の設置・増員 + 学部等の設置・増員 (一般枠)		

**1. 事業概要**

本事業では、情報学とデータサイエンスに関する高度な専門性と課題解決型授業等を通じて身に付けた実践力を合わせ持ち、新たな価値を創造して社会課題の解決を図ることができる高度情報専門人材を育成するため、情報系分野の学部・大学院を改組するものである。具体的には、入学定員100名（収容定員400名）からなる情報系学部を令和7年度に開設し、さらに入学定員35名（収容定員70名）からなる情報系研究科を令和11年に開設し、ともに現在の約3倍規模のデジタル人材を育成する計画である。**本学部の特徴は、情報学とデータサイエンスの応用分野として人間情報、知能ロボティクス、防災等における教育研究を推進すること**である。また、**本研究科の特徴は、情報学・データサイエンスに関する高い専門性を身に付け、AI等を活用して高度化した情報技術により課題解決に取り組むこと**であり、これらの研究成果の社会実装によりデジタル社会の構築を目指す。

2.基本情報

大学全体の収容定員数等の変化（予定）

		博士課程	修士課程	大学院計	学士課程
大学全体の情報系組織の収容定員	増員前		24	24	96
	増員後		70	70	400
	増分	0	46	46	304
大学の全組織の収容定員	増員前		426	426	
	増員後		472	472	
情報系組織の収容定員の占める割合	増員前		5.6%	5.6%	
	増員後		14.8%	14.8%	
	増分		9.2%	9.2%	

※正規課程の人数

※令和5年5月1日時点

改組・増員前の組織情報

課程	組織名		入学定員	収容定員	改組時期・内容
博士	情報系				
		計	0	0	
	情報系以外				
計		0	0		
修士	情報系	理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻 人間情報工学コース	12	24	R11募集停止
		計	12	24	
	情報系以外				
計		0	0		
学士	情報系	理工学部 数理・電気電子情報学科 人間情報工学コース	32	96	R7募集停止
		計	32	96	
	情報系以外				
計		0	0		

※情報系組織の改組・増員に関わる組織のみを記入。コース等で実施の場合はコース等単位で記入。

※学士の入学定員には編入学定員を含む。

改組・増員後の組織情報（予定）

課程	組織名		入学定員	収容定員	改組時期・内容	所在地
博士	情報系					
		計	0	0		
		改組前との差	0	0		
	情報系以外					
		計	0	0		
修士	情報系	情報系研究科	35	70	R11設置	秋田県秋田市
		計	35	70		
		改組前との差	23	46		
	情報系以外					
		計	0	0		
学士	情報系	情報系学部	100	400	R7設置	秋田県秋田市
		計	100	400		
		改組前との差	68	304		
	情報系以外					
		計	0	0		
		改組前との差	0	0		

改組・増員後の情報系組織の学位分野（予定）

課程	組織名	学位分野（主なもの6つまで）				
博士						
修士	情報系研究科	工学関係				
学士	情報系学部	工学関係				

## <基本情報>

改組内容：研究科等の設置・増員+学部等の設置・増員  
 情報系組織名：<学士>情報系学部情報系学科 (R7年設置)  
 <修士>情報系研究科情報系専攻 (R11年設置)  
 情報系組織の入学定員：<学士>【R7増員】改組前32名 → 改組後100名  
 <修士>【R11増員】改組前12名 → 改組後35名  
 所在地：秋田県秋田市

## ▶改組する情報系学部・研究科の特徴

○特定成長分野「デジタル」に対応する人材育成  
 ○東北地方における国立大学初の情報系学部の設置  
 ○理系の情報系学部・研究科として人材育成と研究開発を推進  
 ○地域企業・地方自治体等と連携したデジタル人材の育成や共同研究等を推進  
 ○情報学・データサイエンスの応用分野（研究対象）として、人間情報学に加え、  
 知能ロボティクス、防災システム等を扱う教育研究組織

## 高度情報専門人材を育成する学部・研究科

### <改組前>

理工学部  
 数理・電気電子情報学科  
 人間情報工学コース  
 定員32名

↓ 進学率約40%

理工学研究科  
 数理・電気電子情報学専攻  
 人間情報工学コース  
 定員12名

学部・研究科  
 の改組により  
 約3倍増の  
 人材を養成



### <改組後>

R7学部設置  
 情報系学部・情報系学科  
 定員100名

↓ 進学率約40%を想定

R11大学院設置  
 情報系研究科・情報系専攻  
 定員35名

★特筆すべき点  
実務経験者6名を配置

## ▶改組後の教育内容

○学部においては、情報学・データサイエンスを基礎から体系的に学び、さらに課題解決型授業等で実践力を養い、これらを応用分野における社会課題を解決する研究を通じて、新たな価値を創造する力を身に付けた人材を養成する。  
 ○大学院においては、情報学・データサイエンスに関する高い専門性を身に付け、AI等を活用して高度化した情報技術により、自ら設定した課題を解決するための考えを深く掘り下げながら研究を推進し、得られた成果の発表等を通じて多様な人とコミュニケーションを取りながら、社会課題の解決を図ることができる人材を養成する。

## ▶体制・環境

○教員組織：情報、ロボティクス、防災等にPBL教育を担当する教員を加えた体制  
 ○教育研究環境：情報教育系新棟の活用、理工5号館の改修によるIT環境の充実等

連携体制を強化し  
 人材育成と情報産業  
 の振興に取組む



## ▶地域企業・地方自治体等との連携

○情報関連産業振興に係る連携協定（秋田県、企業3社）  
 ○秋田デジタルイノベーション推進コンソーシアム  
 ○秋田県情報産業協会  
 課題解決型授業等を通じたデジタル人材の育成と情報関連産業の振興等に取組む。

人材ニーズへ対応



## ▶具体的な人材ニーズ

○AIスペシャリスト等の職種が2027年度までに30%増加  
 ○2030年度までに情報系人材が79万人不足  
 ○本学の情報系人材の求人倍率は2倍超  
 ○新学部設置に関する独自調査で約9割の企業が採用意向有り

教学マネジメント  
 による質保証



## ▶内部質保証委員会

○入試区分・入試成績と学業成績の相関を分析  
 ○教育課程の自己点検・評価  
 ○学修成果（能力・技能等）の検証  
 ○学修目標の具現化（DPの検証）等を実施



## ★特筆すべき点

電子機器メーカー、IT企業、行政機関等において勤務実績のある実務経験者6名を配置し、最新のデジタル技術活用事例の紹介や、データ活用による地域課題解決の取り組み等を実施する。

## ▶他大学との違い

情報学・データサイエンスの応用分野として、人間情報学のみならず、知能ロボティクスや防災システム領域に関する教育研究へ取り組み、ITエンジニアのみならず、製造業等におけるシステムエンジニア、社会システムに関するデータサイエンティスト等も育成する学部・大学院である。